

『リトル・ボーイ 小さなボクと戦争』は戦争という人生の困難において、
単なる言葉を越えて、本当に大切なものは何かを考える物語である

—監督・脚本・製作：アレハンドロ・モンテヴェルデ

第二次世界大戦下、カリフォルニア州の小さな町。8歳の少年ベッパーは町の誰よりも背が低く「リトル・ボーイ」とからかわれていた。数少ない楽しみは、唯一の“相棒”である父親との時間。しかし、その父親が戦場へと駆り出されることに——。一度は絶望したベッパーだったが、町の司祭とその友人である日系人・ハシモの力を借りて、戦場からの“父親親選大作戦”が始まった！少年の途な想いは、海を越えて父親へと届くのか。

広島に投下された原子爆弾が“LITTLE BOY”と呼ばれていたことを知ったメキシコ出身のモンテヴェルデと脚本家のボーティエロは、父子の愛を軸に、少年の視点で戦争と平和を切り取った。さらに、日系人との交流を通してアメリカと日本それぞれの信念、戦争下にあった差別主義をも描き出していく。町のはずれ者同士が人種や年齢を超えた友情を紡ぎ、人を許すことが世界に平和をもたらすのだということに改めて気づかせてくれる本作。ほぼ演技未経験のジェイコブ・サルヴァーティが演じる主人公ベッパーの、信念を貫き努力を厭わないひたむきな姿にも心打たれることだろう。母役に『博士と彼女のセオリー』などの英女優エミリー・ワトソン、少年を導く司祭に英国を代表する俳優のひとりであるトム・ウィルキンソン、日系人に『47RONIN』などのケイリー=ヒロキキ・タガワなど脇を固める多彩な顔触れにも注目だ。

監督：アレハンドロ・モンテヴェルデ 脚本：アレハンドロ・モンテヴェルデ、ヘベ・ボーティエロ
原簿：LITTLE BOY/2014年/米/106分/5.1ch/シネマスコープカラー/デジタル/字幕収録/戸田奈津子 提供：日活 配給：東京テアトル 日活

8月27日(土) ロードショー

年少映画書評会推薦
littleboy-movie.jp

全国共通特別鑑賞券¥1,400(税込) 絶賛発売中! <当日一般料金¥1,800(税込)のところ>

★印の劇場窓口でお買
い求めのお客様にオリジ
ナルポストカードをプレ
ゼント(数量限定)



★ 有楽町イトシア イトシアプラザ4F
イ・テアトルシネマグループ
ヒューマントラストシネマ有楽町
03 (6259) 8608 www.ttcg.jp

★ 渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
TEL.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

★ 8/27(土)～【広島】	★ 9/10(土)～【神奈川】	★ 9/3(土)～【大阪】
広島サロンシネマ 082 962-7772	横浜シネマ・ジャック&ベティ 045 243-9800	テアトル梅田 06 6359-1080
★ 9/10(土)～【北海道】	★ 9/10(土)～【愛知】	★ 9/10(土)～【兵庫】
札幌シアターキノ 011 231-9355	名演小劇場 052 931-1701	シネ・リーブル神戸 078 334-2126

★ 順次公開予定【京都】
京都シネマ 075 353-4723

● 順次公開予定【宮城・仙台】チネ・ラヴータ 【富山】シアター大都会 【長野】長野千石劇場 【静岡】静岡シネ・ギャラリー 【静岡・浜松】CINEMA e_ra 【静岡・三島】ジョイランドシネマみしま 【岡山】シネマ・クレール丸の内 【沖縄・那覇】シネマバレット

ジェイコブ・サルヴァーティ エミリー・ワトソン ケイリー=ヒロキキ・タガワ and トム・ウィルキンソン

リトル・ボーイ
小さなボクと戦争

I believe
I can do this!



少年のひたむきな想いと大きな愛は
遠く戦場の父親へと届くのだろうか…
小さな町に起きた奇跡の物語



CAST: JACOB TORRES, EMILY WATSON, KEELY-HERO KIKI TAGAWA, TOM WILKINSON
CREDITS: LITTLE BOY/2014年/米/106分/5.1ch/シネマスコープカラー/デジタル/字幕収録/戸田奈津子 提供：日活 配給：東京テアトル 日活

ペッパー少年のひたむきな姿に絶賛の声続々!

子供と戦争をこのように描いたのがスゴイ。

ペッパーとお父さんの関係、ペッパーと日系人との関係のなんと素晴らしいことか。

ラストのうまさも良く、一級の戦争映画だ…。

おすぎ (映画評論家)

信じるだけじゃ夢は叶わない。だけど信じなければ夢は見られない。

子どもの頃は誰もが夢見る達人だったことを、ペッパー少年が思い出させてくれた。

中江有里 (女優・作家)

人間は愚かだよな。国と人種と宗教が違うだけで偏見を持ってしまう。

ココロと心、心の中の大きな愛をわすれてはいけない事をこの映画は教えてくれる。

ダイヤモンド☆ユカイ (歌手・俳優)

8歳の少年ペッパーの祈りは父を生還させた。

たとえ偶然だったにしろ父への痛切な思慕がそれを奇跡に変えたのだ。

終戦時5歳だった僕は、20歳で中国東北部の荒野で散った兄の生還を期し、

ペッパーと一体になって祈っていた。

志茂田景樹 (作家・よい子に読み聞かせ隊 隊長)

私たち日本人にとって、改めて戦争の怖さを実感できました。戦争は二度と起こしてはならない。

その中で、少年の純粋な祈り。親子愛、夫婦愛、家族愛、そして友情。

世の中に本当に大切なものは何かが分かると思います。

この映画は、必ずハンカチを持って見てください。

佐藤弘道 (タレント)

小さなボクとお父さんとの合言葉は、I believe I can do this!

戦争にとられたお父さんと呼びもどすためなら、なんだってできる。

日系人ハシモトに親切にすることだって。

やがて広島に落とされた原爆「リトルボーイ」

戦争は終わり、お父さんは帰ってくるけれど、

もうひとりのリトルボーイ、小さなボクは、なにを思い、なにを見るか。

この夏、親子でぜひ、リトルボーイに会いに行ってください。

新藤悦子 (児童文学作家)

リトルボーイみました。涙でた。信じる力というのは、世界を変えるんだな。

うたがうことばかりうまくなる全ての大人にみてほしい。

ほくも頭で考えたこと、行動、心の中、ぜんぶで確信できた時にうまくいった気がする。

ほくの名前は、信実(のぶみ)とかきます。

信じることで実るんだ。この映画も同じだった。

自分の信じることをやれると思うか?

やれる!と答えられる人でいたい。

のぶみ (えほんさっか)

画家ノーマン・ロックウェルが描いた絵画のようなトーンで撮られた映像美。

彼が描いたユーモアある少年視点の世界に魅き込まれて行く。

大人になり忘れていた子供時代の夢が詰まった宝箱を見つけた…そんな映画です。

箕星太郎 (漫画家)

一枚のリストが絆をうみリトルボーイを成長させる。

信じる力というのは大きく、勇気を与えてくれる。

1%の可能性は信じる事で100%にだってなれる!

小さな身体で大きなものに挑み戦う勇気が素晴しかったです。

山上兄弟・山上佳之介 (マジシャン)

第二次世界大戦を描かれている今作。

アメリカ視点で見る事で戦争の新たな発見がありました。

1人の幼い少年が父親の為に奮闘する、そして衝撃のラストに感動しました。

山上兄弟・山上暁之進 (マジシャン)

信じるって勇気のいること、でも信じる心は運命を、

まわりを変える力があるんだってことを

主人公の少年とその父親にあらためて教えられました。

この気持ちを大切にしたいこんな親になりたい!

胸の中にあたたかいものが広がって優しい気持ちになりました。

二階堂美和 (ひよこクラブ編集長)